

# 優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)の運用状況

優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)  
追加型投信／国内／株式

2019年10月21日

- 2019年9月27日に運用を開始した「優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)」の主要投資対象である優良好配当・日本株式マザーファンド(以下、マザーファンド)は、設定日より株式の組入れを進め、設定当初の目標ポートフォリオの構築を完了しています。

## 【クオリティの高い、好配当利回り銘柄に投資】

当ファンドが投資する銘柄はどのような銘柄なのかを改めてご説明します。一言でいうと、「**クオリティの高い、好配当利回り銘柄**」です。配当利回りの高さを重視しますが、財務面や業績などのクオリティも考慮して銘柄を選定します。

ポートフォリオ構築プロセスは、右図のとおりです。ポイントは大きく3点あります。

### ①「投資魅力の高い」銘柄の抽出

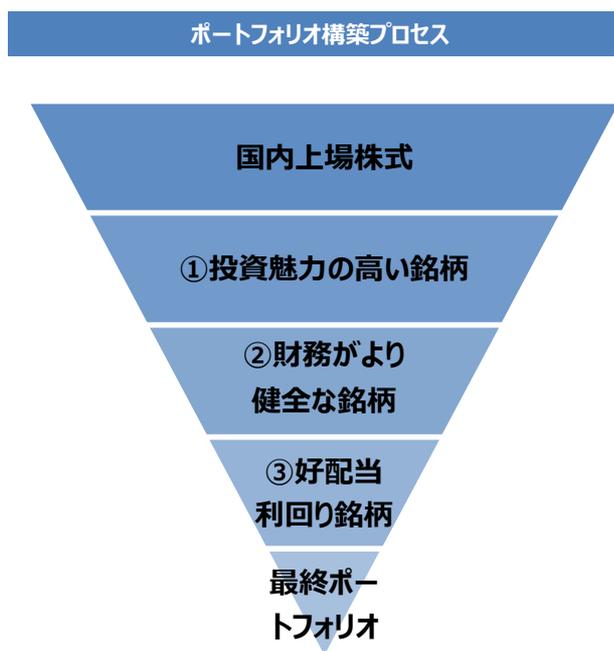
まず、**JPX日経インデックス400(以下、JPX400)構成銘柄(金融を除く)に絞ります**。JPX400は、資本の効率性や投資者を意識した経営観点など、グローバルな投資基準に求められる諸条件を満たした銘柄で構成される株価指数です。

### ②「財務がより健全な」銘柄の選定

次に、**財務がより健全で、増配・自社株買い期待が高い200銘柄に絞ります**。現金や有価証券などの換金性の高い資産を多く持っているかに着目します。また配当の持続性に問題があるかどうかもチェックします。

### ③「好配当利回り」銘柄の選定

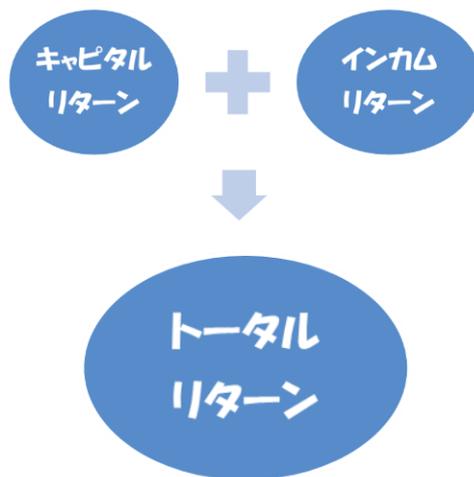
最後に、**予想配当利回りの高い50銘柄に絞ります**。配当の積み上げによる、安定した収益の獲得を目指します。また、特定の業種に偏らないように考慮します。



## 【バランスの良いトータルリターンを獲得を目指す】

このプロセスを通じて、配当を重視しながらも、バリュー株<sup>※1</sup>に偏りすぎないような銘柄選択をします。企業業績を考慮して構成されるJPX400に初めに絞ることで、グロース株<sup>※2</sup>も取り入れ、グロース株優位の局面においても、追随できるようなポートフォリオを目指します。業績の成長や手元資金の活用によるキャピタルリターン(株価の値上がりによる収益)と、高い配当利回りによるインカムリターン(得られる配当による収益)を合わせた、**バランスの良いトータルリターンの獲得を目指します**。

銘柄の見直しおよび組入比率の調整は、原則として3ヵ月毎に行います。次回は、11月半ばの実施予定です。



※1 バリュー株とは、株価が割安な水準にあるとされる銘柄

※2 グロース株とは、成長性が高く利益が伸びると予想される銘柄

※上記はイメージ図です

### ＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

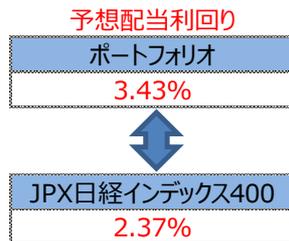
■本資料は、「優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)  
追加型投信／国内／株式

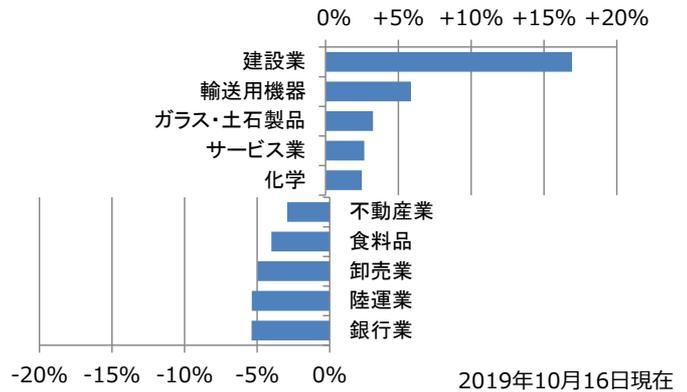
【ポートフォリオとJPX400との比較】

ポートフォリオの予想配当利回りは、2019年10月16日時点で3.43%です。JPX400の利回りと比べると、1%以上高くなっています。

業種別では、建設業の比率の高さが際立っています。現在のポートフォリオは、建設業株を10銘柄保有しており、業種別構成比率は19.8%です。一方、JPX400の建設業の構成比率は、2.9%しかありませんので、その差は16.9%あります。これは現在のポートフォリオの大きな特徴といえます。



ポートフォリオの業種別構成比 - JPX400の業種別構成比



※グラフは、投資をする株式の時価合計に対する業種別構成比からJPX400の業種別構成比を引いたもの

※ポートフォリオの予想配当利回りは、組入銘柄の加重平均

(出所) Bloombergより岡三アセットマネジメント作成

ファンドの状況

2019年10月16日現在

マザーファンド	
株式組入比率	97.7%
短期金融商品その他	2.3%
組入銘柄数	50 銘柄
予想配当利回り(加重平均)	3.4%
JPX400利回り(加重平均)	2.4%

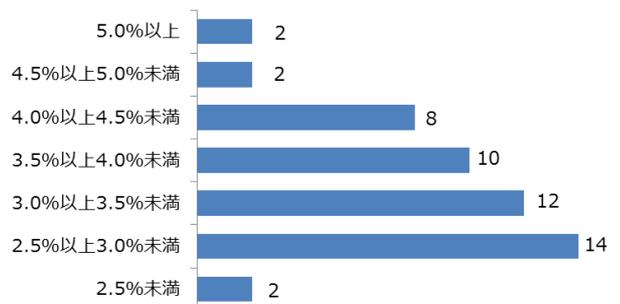
優良好配当・日本株式ファンド	
基準価額	10,287 円
残存元本	10,409,979,391 口
純資産総額	10,708,638,866 円
マザーファンド組入比率	99.5%
実質株式組入比率	97.2%
短期金融商品その他	2.8%

※基準価額は1万口当たり

組入株式の上位10業種		
順位	業種名	組入比率
1	建設業	19.4%
2	電気機器	13.7%
3	輸送用機器	11.8%
4	化学	9.8%
5	情報・通信業	7.9%
6	医薬品	7.9%
7	サービス業	7.5%
8	精密機器	4.1%
9	ガラス・土石製品	4.0%
10	機械	3.9%

※組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

予想配当利回り分布



(出所) Bloombergより岡三アセットマネジメント作成

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)  
追加型投信／国内／株式

2019年10月16日現在

## マザーファンドの組入銘柄一覧

	銘柄コード	銘柄名	業種		銘柄コード	銘柄名	業種
1	1719	安藤・間	建設業	26	5108	ブリヂストン	ゴム製品
2	1720	東急建設	建設業	27	5301	東海カーボン	ガラス・土石製品
3	1801	大成建設	建設業	28	5393	ニチアス	ガラス・土石製品
4	1808	長谷工コーポレーション	建設業	29	5975	東プレ	金属製品
5	1812	鹿島建設	建設業	30	6113	アマダホールディングス	機械
6	1821	三井住友建設	建設業	31	6432	竹内製作所	機械
7	1861	熊谷組	建設業	32	6448	ブラザー工業	電気機器
8	1878	大東建託	建設業	33	6503	三菱電機	電気機器
9	1951	協和エクシオ	建設業	34	6641	日新電機	電気機器
10	1959	九電工	建設業	35	6724	セイコーエプソン	電気機器
11	2121	ミクシィ	サービス業	36	6877	OBARA GROUP	電気機器
12	2124	ジェイ・エイ・シー・リクルートメント	サービス業	37	6902	デンソー	輸送用機器
13	3116	トヨタ紡織	輸送用機器	38	6952	カシオ計算機	電気機器
14	3738	ティーガイア	情報・通信業	39	6988	日東電工	化学
15	4202	ダイセル	化学	40	7202	いすゞ自動車	輸送用機器
16	4204	積水化学工業	化学	41	7261	マツダ	輸送用機器
17	4206	アイカ工業	化学	42	7270	SUBARU	輸送用機器
18	4246	ダイキョーニシカワ	化学	43	7313	テイ・エス テック	輸送用機器
19	4503	アステラス製薬	医薬品	44	7606	ユナイテッドアローズ	小売業
20	4508	田辺三菱製薬	医薬品	45	7717	ブイ・テクノロジー	精密機器
21	4521	科研製薬	医薬品	46	7731	ニコン	精密機器
22	4523	エーザイ	医薬品	47	7751	キヤノン	電気機器
23	4689	Zホールディングス	情報・通信業	48	9201	日本航空	空運業
24	4704	トレンドマイクロ	情報・通信業	49	9437	NTTドコモ	情報・通信業
25	4732	ユー・エス・エス	サービス業	50	9744	メイテック	サービス業

### JPX日経インデックス400の著作権等について

「JPX日経インデックス400」は、株式会社日本取引所グループ及び株式会社東京証券取引所（以下、総称して「JPXグループ」といいます。）並びに株式会社日本経済新聞社（以下、「日経」といいます。）によって独自に開発された手法によって算出される著作物であり、「JPXグループ」及び「日経」は、「JPX日経インデックス400」自体及び「JPX日経インデックス400」を算定する手法に対して、著作権その他一切の知的財産権を有しています。

「JPX日経インデックス400」を示す標章に関する商標権その他の知的財産権は、全て「JPXグループ」及び「日経」に帰属しています。

当ファンドは、投資信託委託業者等の責任のもとで運用されるものであり、「JPXグループ」及び「日経」は、その運用及び当ファンドの取引に関して、一切の責任を負いません。

「JPXグループ」及び「日経」は、「JPX日経インデックス400」を継続的に公表する義務を負うものではなく、公表の誤謬、遅延又は中断に関して、責任を負いません。

「JPXグループ」及び「日経」は、「JPX日経インデックス400」の構成銘柄、計算方法、その他「JPX日経インデックス400」の内容を変える権利及び公表を停止する権利を有しています。

(作成：運用本部)

#### <本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)  
追加型投信／国内／株式

優良好配当・日本株式ファンド(愛称 投資の原点)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様には帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「信用リスク」があります。  
※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻りに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
  - 購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.30%（税抜3.0%）  
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
  - 換金手数料：ありません。
  - 信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
  - 運用管理費用（信託報酬）  
：純資産総額×年率1.364%（税抜1.24%）
- その他費用・手数料
  - 監査費用：純資産総額×年率0.011%（税抜0.01%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただけます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

**販売会社**

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
<b>(金融商品取引業者)</b>					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			

**<本資料に関するお問合わせ先>**
**フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)**